

令和 7 年度上半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	黒野児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市古市場 20 番地 1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日まで		
選定方法	■公募 □非公募		
料金制	□使用料 □利用料金 ■料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	17,306,000 円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造 2 階建 ◇敷地面積:1,284.56 m ² ◇延床面積:599.78 m ² ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書室、勉強室、体育室、事務室 ※岐阜市立黒野保育所との合築		

●利用状況

		R7 上半期	R6 下半期	R6 上半期	R5 下半期	R5 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	8,225	6,478	7,790	6,588	7,060
	移動児童館利用者数	159	99	46	164	118
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※5(5)	※4(4)	※3(3)	※4(4)	※4(3)
	開館日数(単位:日)	156	151	154	151	155

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①計画通り実施しました。 開館時間を 17:30 までとし、17:30 以降 15 分間を館内清掃時間としました。 また、13:00 から館内清掃、消毒を実施し感染症防止に努めました。 ②常勤職員 3 名、うち児童厚生員 2 名を配置しました。 ③児童用と乳幼児用のおたよりを毎月発行しました。 児童用おたよりは、地区内の小学校 6 校に配布。夏休み特別号は 6 校の全児童に配布しました。 乳幼児用おたよりや単発での行事案内を、来館された皆様に配布しました。玄関ホールと幼児室に掲示したり、移動児童館の際、配布をして PR に努めました。 毎月のおたよりや緊急案内など、情報を広く知っていただけるようホームページを更新しました。(上期 28 回更新)。また、当岐阜市社会福祉事業団が管理している他の 8 施設や、岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設「ツナグテ」のホームページとリンクを貼り、他館の情報も入手しやすくしました。 インスタグラムでの情報発信も行いました。行事案内の他、写真の掲載により、活動の様子を知っていただくきっかけとなるようにしました。(投稿34件、フォロワー226 人) 気象警報発令時の休館などの情報は、迅速にホームページ、インスタグラムに UP しました。 ④ご意見箱を設置し利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としました。また、苦情解決の仕組み・苦情の申出先を館内掲示することで苦情に対し適切に対応できる体制としました。 児童・保護者を対象にアンケートを 1 回実施しました。 ご意見箱に寄せられた苦情・意見、アンケート結果は、逐次館内に掲示するとともに、改善できるものは迅速に対応しました。

	⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	アンケートについては、ご意見ご要望も含めホームページで公開しました。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアルにもとづき保守点検を適切に実施しました。また、安全計画にもとづく施設・設備の安全点検を実施しました。 ②施設の清掃は、職員による日常清掃のほか、就労継続支援 B 型事業所により週 2 回の清掃を実施しました。快適で安全に施設を利用していただくため、エアコンの温度管理と換気、トイレの清掃には特に気を付けました。園内の草取りやゴミ拾い、花壇の手入れを行うなど環境整備にも努めました。 ③未使用の部屋の電気、エアコン等スイッチを切り、適切な温度設定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。また、牛乳パックやトイレトペーパーの芯などの廃材を事業に活用するなど環境に配慮した施設運営に心がけました。 ④月 1 回の職員による施設の安全点検・遊具点検、月 2 回の AED 器具の点検、毎日の消毒、清掃を行い、遊具・玩具、設備、備品の維持管理に努めました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性があると判断した修繕は、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぐ方針としました。また、利用者の安全が確保できないものは、安全が確保されるまで利用を中止する方針としました。 ②故障したおもちゃなどはおもちゃ病院(ボランティア団体)に月 1 回訪問された際、修繕していただきました。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③、岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。 災害や事故等が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を維持しています。 個人情報が記載された用紙は、使用后すべてシュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。

●利用者評価

利用者アンケート の実施状況 及び実施結果	＜保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート＞										
	【期間】		令和7年 7 月 1 日 ～ 7 月 31 日								
	【回答者数】		50 人								
	【校区】		七郷: 18 人 黒野: 12 人 西郷: 6 人 木田: 3 人 城西: 3 人 常磐: 2 人 島: 2 人 その他市内: 1 人 その他市外: 3 人								
	【年齢】		10 代: 0% 20 代: 16% 30 代: 58% 40 代: 18% 50 代以上: 8%								
	【評価】										
	(あいさつ)		満足: 88%		ほぼ満足: 10%		普通: 2%		やや不満: 0% 不満: 0%		
	(言葉づかい)		満足: 88%		ほぼ満足: 10%		普通: 4%		やや不満: 0% 不満: 0%		
	(利用者対応)		満足: 86%		ほぼ満足: 10%		普通: 4%		やや不満: 0% 不満: 0%		
	(利用しやすさ)		満足: 82%		ほぼ満足: 12%		普通: 6%		やや不満: 0% 不満: 0%		
	(整理整頓)		満足: 82%		ほぼ満足: 16%		普通: 2%		やや不満: 0% 不満: 0%		
	(清潔感)		満足: 76%		ほぼ満足: 20%		普通: 4%		やや不満: 0% 不満: 0%		
	(換気)		満足: 80%		ほぼ満足: 16%		普通: 4%		やや不満: 0% 不満: 0%		
	○その他アンケートの内容と結果は、別紙のとおり。										
		＜小・中・高校生用アンケート＞									
【期間】		令和7年 7 月 1 日 ～ 7 月 31 日									
【回答者数】		50 人									
【学年】		小学: 1 年 5 人 2 年 8 人 3 年 10 人 4 年 13 人 5 年 5 人 6 年 7 人 中学: 1 年 2 人 2 年 0 人 3 年 0 人 高校: 1 年 0 人 2 年 0 人 3 年 0 人 無回答: 0 人									
【学校名】		黒野小 43 人 七郷小 3 人 岐北中 2 人 その他市内 2 人 その他市外 0 人									
○その他アンケートの内容と結果は、別紙のとおり。											
利用者からの 要望・苦情と 対処・改善		・外出できるイベントがあってもいいかなと思います。 ⇒とても魅力のあるご意見ありがとうございます。ただ、安全面などを考えると、引率する職員数が少ないので難しいかと思っています。									
		・駐車場に線を引いてほしい ⇒いつもご利用いただきありがとうございます。敷地内の駐車場には、白線が引いてありますので、おそらく隣接している小学校の駐車スペースについてご希望されているのではないかと思います。こちらは、小学校のご厚意でお借りしているスペースですので、白線を引くことは難しいかと思っています。									
		・お弁当やおやつを食べれる場所があるとうれしいです。 ⇒時間や利用のルールが整いましたら、行いますので、しばらくお待ちください。									
		・パズルやブロックを増やしてほしい ⇒前向きに購入を考えます									
		・おままごとの充実 ⇒ままごとあそびがしやすいようにと配置換えをしました。今後もおままごと遊びが楽しめるよう考えていきます									
		・今年から本が充実して嬉しいです。貸出しもできれば利用したいです。 ⇒前向きに検討します。貸出しについてのルールが整い次第、始めたいと思いますのでしばらくお待ちください。									
		・小学校1年生の子どもと一緒に遊んであげたいのに、2才、5才の子がいるので、ようじつに1人だけ小学生の子が いると入れないので、3人子どもがいる場合は、小学生の子は読書しているならようじつに入って良いなど、子どもがた くさんいる場合の対応も考えてほしいです。									

⇒岐阜市の児童館の幼児室のご利用については、同じルールをお願いをしています。幼児と小学生の兄弟姉妹でご利用の際は、小学生は幼児室に入室できないとの説明させていただいています。小学生が利用できる部屋には幼児室のおもちゃを持つての入室が可能ですので、ご不便をおかけますがご理解いただきますようよろしくお願いします。

- ・何年生かは分からないけど、元気なのはいいけど、走ったりどたばた歩いたり、小さい子達もくるんだから、もうすこしすずかに遊んでほしいです。

⇒貴重ご意見ありがとうございます。児童館は0歳から18歳までの子どもたちが利用できる施設です。小さなお子さんの利用も多く、施設の構造上、廊下や部屋での足音や物音が想像以上に大きいので、廊下は走らないとの約束をしています。ただ、遊びに夢中になり騒がしくしてしまうこともありますので、その場合はご面倒ではありますが職員までお申し付けください。こちらで対応させていただきます。今後も利用者の皆さんが、気持ちよく遊んだり利用できるよう努めてまいります。

- ・やすみをなしにしてほしい⇒児童館のお休みは、岐阜市で決まっているので、勝手になしにすることはできません。ごめんなさい。
- ・遊ぶ物を1つずつしかないので2個にしてください⇒遊ぶ物によって2つあってもいいと思うので、考えていきます。
- ・ゲームマスターは土日にしかないの？⇒いいえ。ゲームマスターは平日におこなっています。火～金曜日におこなって、土曜日はそのゲームの大会をしています。
- ・えんぴつと白いかみ⇒あるので、使いたいときは言いください
- ・ブロックであそびたいです⇒わかりました。考えてみます。
- ・いつもたのしいなー
- ・いつもありがとうございます！（2）
- ・いつでもつづけてほしい
- ・たのしい
- ・大好きです

⇒みんなありがとう！

●指定管理者の選定基準に基づく評価(黒野児童館)

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者のニーズ、苦情の把握 ・利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体力増進指導に関し知識技能を有する者)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	S	S
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	広範で適切な情報提供・広報活動の実施（公平性透明性②） ・インスタグラムによる広報宣伝活動(再掲②⑥) 行事の予定だけでなく、活動の様子や作品を投稿し、実際の活動内容を知っていただけるようにしました。夏休みには、小学生が普段の遊びの中でチャレンジしたドミノの作品を投稿したところ、その小学生から「お母さんがインスタを見て、すごいねと言ってくれた」と嬉しそうに話しに来てくれました。広報活動としての投稿以外にも、親子や家族の会話のきっかけにもなっています。(上半期投稿回数 34 回、いいね 141、フォロワー226 人) ・母子モの活用(再掲②⑥) 岐阜市子育てアプリ母子モを活用し、乳幼児親子向けイベントの情報を幅広く知っていただけるよう発信をしました。投稿直後に電話で予約が入ったり、母子モを見たけど都合が悪くて…と、反応がありました。母親がイベントの情報収集の1つとして利用していることがわかりました。(上半期投稿数 18 回) ・ホームページでの情報提供 毎月のおたよりや単発で行う行事の案内を随時更新し、最新情報を提供しました。(上半期更新回数 28 回) ・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥) 毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館を知っていただくきっかけとなりました。 ・「ツナグテ」利用者への PR(再掲②⑥) 毎月発行するおたよりに「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも黒野児童館の PR を行うことができました。 ・新一年生へのオリエンテーション(再掲②④) 児童館職員が黒野小学校に出向き、新 1 年生児童を対象に黒野児童館の使い方を教えるオリエンテーションを実施しました。4 月号のじどうかんだよりと職員手作りのコマを渡しました。友だちと約束したり、親子で来館してくれました。 ・幼児クラブ申し込み連携(再掲②⑥) 登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きがある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。 業務改善や工夫（効果性③） ・乳幼児向けクラブ、イベントの見直し これまであった 1 歳以上の親子を対象とした自由参加の幼児クラブ「たんぽぽひろば」は、対象を 2 歳以上の親子に変更し、新たに 1 歳親子を対象とした「ちゅうりっぷひろば」を開設しました。それにより、年齢に合った活動ができるようになり、登録制クラブより気軽に申込みができるため、こちらを選択される保護者もいっしょにいます。 また、0 歳～未就園児親子を対象とした「わいわいひろば」は、年齢幅が大きく、活動内容の決定が難しいことや他のクラブの内容と似てしまうなどの課題があったため、異年齢のメリットも大切にしながら 0 歳の子も安心して参加できる活動、幼児クラブではなかなか時間をかけて読み聞かせが行うことができないなどの意見から、読み聞かせの会を行うこととし、「わいわいひろば」を「わいわい読み聞かせひろば」に改めました。「読み聞かせ」は事前申込みが必要ないことや、20 分という短い時間がメリットになっており、活動の内容によって参加しづらかった 0 歳の子をもつ母親も参加しやすいようです。対象年齢に応じた絵本を多めに準備したり、お話とお話の間に、手遊びやふれあい遊びを入れるなど、親子で楽しめるように工夫しています。 ・幼児室の配置換え 幼児室のおもちゃ等の配置換えをしました。その結果、幼児室に入った際、絵本コーナーが目に入りやすくなり、親子で絵本を読む姿や子ども自身が絵本を取りに行く姿が増えました。また、幼児室に設置されている大きな家の近くにテーブルやキッチン、ままごとセットを集約したことで、ままごとあそびが盛り上がりつつある姿をよく見かけられるようになりました。今まであまり使われていなかったキッチンの使用頻度も高まりました。 ・幼児室掲示板の設置(再掲③⑤) 廊下にあった乳幼児向けの掲示板を幼児室に作り直しました。毎月のおたよりや単発のイベント情報などを掲示しています。ご利用中気軽に見ていただけるようになり、気になるイベントを写真で取ったり、帰り際に申込みされる方が増えました。また、掲示板には、かわいい壁面も貼ったことで、子どもたちが指差ししてくれ、保護者の目にも入りやすくなっています。 ・1 階ホールの活用(再掲③⑤) ロビーに置いてある机の椅子を 2 脚から 4 脚に増やしたところ、その場所で遊んだりおしゃべりする子が増えました。お友だちやお家の人の迎えを待つ間や 2 階が賑やか過ぎて落ち着いて遊べない等の理由で多くの子が使用しています。黒野児童館の構造上、2 階にしか遊ぶ部屋がありませんが、不審者対策等の理由で事務室に職員がいることが多いことから、子どもたちにとって落ち着けるスペースとなっています。 ・「パパといっしょに」を「家族みんなで」に(再掲③⑤⑥) 好評だった幼児親子対象の行事「パパといっしょに…」は、今年度より「家族といっしょに…」に変更しました。それにより、パパやママだけでなく、小学生の兄弟も参加してくれ、会を盛り上げてくれています。普段、母親から離れない子が、兄弟と一緒に体操する姿もあり、保護者から大変喜ばれました。 5 月 幼児 7 名、小学生 2 名、保護者 7 名 7 月 幼児 7 名、小学生 3 名、保護者 10 名 ・体育室、プレイルームの使用名簿について 体育室や、プレイルームを使いたい時は、熱中症対策や公平性を保つために、使用名簿に予約をしてもらっています。これまで、どちらの部屋の予約も、同じ名簿に記入してもらっていましたが、使用時間の混乱が生じ、トラブルになることもあったため、その対処として、各部屋別の名簿に変えました。その結果、子どもたちも職員も混乱がなくなり、使用時間のトラブルがなくなりました。 ・ゲームマスターズの充実(再掲③⑥) 月ごとに内容を変え、みんなでゲームに取り組むことで子どもたちの交流を促すとともに、新しいゲームの楽しさを発見し、より高い得点を目指して遊べる機会を提供してきたゲームマスターズは、最終日の土曜日に、大会を行うことで更なる盛り上がりを目指しました。その結果、平日と土曜日とで参加できる子が違うことがわかり、それぞれの盛り上がりがありました。今まで参加したくても平日だからと来られなかった子が土曜日の大会に参加できてよかったと嬉し
--------------------------	--

	そうに話してくれました。 5月:オセロであそぼう 小学生 28名 オセロ大会 小学生 7名、他児童 2名 6月:マンカラであそぼう 小学生 20名 マンカラ大会 小学生 4名 9月:UNO であそぼう 小学生 12名 UNO 大会 小学生 5名 ・絵本のローテーション(再掲③⑤) 岐阜市が購入した 20 冊の内 10 冊を原則 1 か月単位で事業団の 9 施設でローテーションを実施。利用者に毎月新しい本を提供。 新規事業(行事)等の実施 (効果性③) ・ちゅうりっぷひろばの開催(再掲③⑤) 1 歳のお子さんと保護者を対象とした自由参加のクラブを開設しました。月に 1 回の開催のため、登録制の幼児クラブより気軽に参加できることから、初めて参加する方や、予定がたくさんある母親に好評です。 ・読み聞かせの会の開催(再掲③⑤⑥) 7 月より、「わいわい読み聞かせひろば」を始めました。乳幼児親子を対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせをしています。20 分ほどの時間ですが、親子で集中して絵本を見てくれ、回を重ねるごとに、いっしょに声を出してくれたり、体を動かしてくれたりとお話への反応もしてくれるようになりました。毎月楽しみにしている親子もいます。 ・ふらば～るで遊ぼうの開催 岐阜県のレクリエーション協会より、道具を借用し、児童対象行事に使用しました。中でも、8 月に実施した「ふらば～るで遊ぼう」では、親子や友だちとで参加され、たつぷりと体を動かし遊んでいただくことができました。「疲れたけどすごく楽しかったです」と笑顔で帰られました。また、小学生の楽しそうな声を聞いて、ふらば～るを行っていた部屋を覗きに来た幼児もいました。父親や職員と転がしたり弾ませて遊び、心ゆくまで楽しんで帰られました。 7 月 キャッチング ザ スティック 6 名 8 月 ふらば～る 22 名 8 月 ディスゲッター9(じどうかんまつり) 50 名 子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。 ・じどうかんまつりにおいてこどもボランティアを募りました。小学生 4 名、中学生 2 名の応募がありました。準備会では、児童館ブースの細かいルールを決めたり、ポスターを書きました。例えば「わなげはお菓子を置いてほしい」、「お菓子が割れないようにわなげの輪は軽い物にしてほしい」など、子どもたちから率直な意見を聞くことができました。じどうかんまつり当日は、「ディスゲッター9」「わなげ」「ヨーヨー風船つり」のブースを地域の方と一緒に担当しました。それぞれのブースで、役割をもって活動することができました。終了後は、岐阜大学看護学科の学生との交流会に参加しました。「お手伝いをやってみてどうだったか」「児童館にはよく来るのか」「児童館や学校で流行っている遊びは何か」などの質問に、緊張しながら答えていました。大勢の学生の前で話す貴重な機会となりました。 ・高学年や中学生の子ども同士のトラブルでは、「なぜ、けんかになったのか」「相手に言われて嫌だったこと、言われて自分はどうか」「けんかにならないようにするにはお互いどうしたらいいか」など、落ち着いて話せる時間をつくりました。 利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施 (効果性⑤) ・三世交代交流事業(おじいちゃんおばあちゃんと一緒にあそぼう)の開催(再掲⑤⑥) 敬老の日になんで、「おじいちゃんとおばあちゃんと遊ぼう」を開催しました。牛乳パックを使ったこま作りや児童館にあるトンネルやボール遊びの道具を出して遊んでいただくことができました。「児童館の話は聞くけれど、今日来て孫の楽しそうな顔が見れてよかった」「普段は来ないおじいちゃんが、声を掛けたら来てくれた」など、大変好評でした。 ・幼児室掲示板の設置(再掲③⑤) ・1 階ホールの活用(再掲③⑤) ・「パパといっしょに」を「家族みんなで」に(再掲③⑤⑥) ・ちゅうりっぷひろばの開催(再掲③⑤) ・読み聞かせの会の開催(再掲③⑤⑥) ・絵本のローテーション(再掲③⑤) ・民生委員による託児ボランティア(再掲⑤⑭) 母親クラブでの活動時に、地域の方に託児ボランティアをお願いしています。ヨガや物づくりを、母親が集中して参加できるだけでなく、地域住民との交流の場となっています。 利用促進や利用者増に繋がる方策の実施 (効果性⑥) ・クラフトウィークの開催 平日の短い時間でも作れる簡単な工作行事を開催しています。工作好きな子は毎月楽しみにしており、期間中毎日来てくれる子もいます。 4 月:クラッカー 小学生 21 名、幼児 2 名、保護者 3 名 5 月:ぶんぶんごま 小学生 29 名 6 月:紙ヒコーキ 小学生 11 名 7 月:プラコップキーホルダー 小学生 27 名 9 月:紙とんぼ 小学生 31 名 ・じどうかんまつりの開催(再掲⑥⑭) 8 月に小学生を対象とした「じどうかんまつり」を開催しました。おまつりには児童館企画の 3 ブースに岐阜大学医学部看護学科の学生による 2 ブースがありました。子どもたちは毎年楽しみにしており、様々な校区から申し込みがありました。定員 50 名に達し、当日は各ブースから笑い声やどよめきが聞こえてきました。この行事には、主任児童委員、母親クラブ、岐阜大学生など 20 名の皆様にサポートしていただき、子どもボランティアとの交流も子どもたちにとって良い機会となりました。 ・夏休み特別企画の開催 夏休み行事を計画するにあたり、「昨年作った物をもう一度作りたい」という子どもの声や、母親クラブに所属している
--	--

	母親からの「お母さんが児童館で作ってきた物を私も作りたいと子どもが言っている」という声を取り入れました。また、普段なかなか経験できないサイエンスショーや木育教室を企画・実施し、地元の小学生以外の子や、親子での参加もあり、どの行事も大変好評でした。 ・幼児クラブ申し込み連携(再掲②⑥) ・Instagramによる広報宣伝活動(再掲②⑥) ・母子モの活用(再掲②⑥) ・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥) ・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥) ・「パパといっしょに」を「家族みんなで」に(再掲③⑤⑥) ・読み聞かせの会の開催(再掲③⑤⑥) ・三世代交流事業(おじいちゃんおばあちゃんと一緒にあそぼう)の開催(再掲⑤⑥) ・ゲームマスターズの充実(再掲③⑥) 職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加(安定性安全性⑫) ・虐待防止研修会 ・普通救命講習3 ・熱中症対策研修会 ・ハラスメント研修 ・職員スキルアップ研修会 ・新規採用者研修会 ・感染症対策研修会 ・発達障害の理解と支援 リスク防止策の実践(安定性安全性⑬) ・災害対策マニュアル 危機管理マニュアル ・不審者対応マニュアル 地震防災マニュアル ・緊急地震速報受信時対応マニュアル ・病害虫防除マニュアル 食中毒・感染症等対応マニュアル ・社会福祉施設避難確保計画(対象災害:水害(洪水)) ・安全計画 ・業務継続計画(自然災害編・感染症発生時)の作成と研修 ・夏休み講座の午前開催 熱中症対策として、夏休み講座の開催時間を一部講座を除き比較的气温が低い午前開催(10時から)にシフトしました。 ・暑さ指数情報(WBGT)の提供 児童館玄関に毎日の暑さ指数情報を看板で掲示し、利用者へ注意喚起しました。(31以上危険、28～31 嚴重警戒、25～28 警戒) さらに熱中症警戒アラートが発令された日には、同じく玄関に「熱中症警戒アラート発令中」と表示しました。 ・こまめな水分補給の呼びかけ 夏休み中の利用者、特に小・中学生に対し、こまめに水分補給するように、声掛けを行いました。また、ドッジボールやバドミントンなどの運動は20分までで次の人と交代し、休憩時に水分補給を行い熱中症にかからないよう気を付けました。 ・小学校先生との情報交流(再掲④⑬⑭) ・虐待防止委員会の開催 当事業団児童館・児童センター所長9名による虐待防止委員会児童部門を開催。各施設での事例を参考に虐待防止に向けた対応策について研究しました。 ・虐待防止研修会(再掲⑫⑬) ・電子メールの誤送信対策の徹底 黒野児童館では、メールアドレスを他者に漏洩することがないように電子メールを使用して一斉配信をする際は、自動的にBCCに変換できるソフトを導入し、対策しています。 ・子ども110番の家の登録(再掲⑬⑮) 子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため、子ども110番の家に登録しています。 「暑いから休ませてほしい」、「トイレを借りたい」、「傘を貸してほしい」など、子どもたちだけでなく、地域の方にも同様に対応しました。 ・帰宅時の声掛け 児童館前の道路は、道路幅の割に交通量が多く、スピードを出す車が多いため、児童館を出る際は、車に気をつけるよう声かけしています。注意が必要なことから、子どもたちに「車に気を付けて帰るように」と必ず声掛けをしました。特に9月に入り日が短くなり、帰宅時には薄暗くなっているため特に注意をしています。 ・大規模災害対策 大規模災害対策のため、飲料水や非常用菓子、フリーズドライの食糧、ヘルメットを備蓄しています。 その他 ・職員による施設の安全点検を毎日実施 地元の諸団体との連携、交流(貢献性⑭) ・じどうかんまつりの開催(⑥⑭) ・大学生による事業企画・実施 岐阜大学医学部看護学科の学生が「地域生活体験学習」として行う、じどうかんまつりや後期に予定している企画についての打ち合わせ会を実施しました。学生が立案したものについて、子どもたちが安全に楽しめるよう話し合ったりアドバイスしました。 ・移動児童館の協力 地域の親子ふれあい教室や放課後児童クラブ、インリーダーと連携し、移動児童館として協力しました。作品作りやゲ
--	--

	ーム指導など、依頼された内容に応えることで、主催している方や参加者に喜んでいただきました。 ・保健師さんによる個別相談の実施 「スマイルひろば」で0歳児を持つ母親を対象に「お家での事故防止」について保健師さんのお話を聞きました。その後、母親との子育て相談会を行いました。保健センターなどに足を運ぶまでではない、電話をするほどでもないといったちょっとした日頃のモヤモヤを話せてよかったと笑顔で帰って行かれました。 ・新一年生へのオリエンテーション(再掲②⑬⑭) ・小学校先生との情報交流(再掲④⑬⑭)
前回までの意見を踏まえた取組み状況	□子ども110番の取組みについて、地域によっては行っていないところが多いが、地域と連携して実施している点は評価できる。 夏の猛暑や天気の変動などで困ったときには、子どもたちだけでなく、地域の方が来館されました。その場合も子どもたちと同様に対応しました。不審者等の情報は、近隣小学校より情報を共有していただき、利用者への声かけを行いました。 □立ったままの姿勢でも楽に入館カードに記入できるようするなど、利用しやすい環境整備に努めている点は評価できる。 引き続き保護者の皆さんに利用していただいています。抱っこのままですと、紙が動いてしまうこともありますので、職員が入館カードの端を押さえたり、お子さんに話しかけるなどしています。中高生が使用することもあり有効に使われています。 □母親同士の交流する場を設け、育児ストレスを軽減する取組みを行っている点は評価できる。 利用者同士が話しやすくなるように、職員も話に参加したり、クラブやイベントの活動を紹介し、顔見知りへのきっかけ作りに努めました。
今後の取組み	□学校や家庭に居場所がない子どもたちを支援するため、来館した1人ひとりの児童に目を配り、話しかけ、子どもの居場所づくりを行っていきます。必要に応じて学校など他の機関との連携を図ります。 □子どもたちのやってみたいを尊重した事業の実施、ボランティア活動が発揮できる場づくりに努めます。 □アンケート結果を踏まえた事業への取組みに努めます。(乳幼児対象の絵本の貸し出し、昼食タイム) □職員の研修参加による、事業の実践力やリスク対応力の強化をしていきます。 □Instagramや母子モによる広報宣伝活動を充実させ、特に乳幼児を持つお母さん方への広報宣伝に取り組みます。

●所管課の意見

- 未就学児までの「わいわいひろば」を「わいわい読み聞かせひろば」と名称を変え、20分間の読み聞かせイベントとし、利用者を楽しんでもらっている。
- 夏休み特別企画で「昨年度作ったものをもう一度つくりたい」というように子どもの意見を取り入れて行事を計画・実行している。

●指定管理者評価委員会の意見

- おもちゃの配置などを工夫し、子どもや保護者にとって利用しやすく遊び込める環境づくりに努めている点が評価できる。
- その他、すべての評価項目が業務要求水準以上となっており、適正に管理運営が行われている。